



今年も新年会を開催しました



まろまろ発足3年目の新年会が、1月31日に盛大にとり行われました。

今年も多くの方にご参加頂き、和やかな雰囲気の中、各テーブルでは会話も盛り上がり、終始楽しい時間でした。

今回は、遠方からドナーさんも駆けつけてくださり、非常に意義のあるものでした。

また、お忙しい中、医師・看護師の方々やコーディネーターの方々にもご参加いただき、感謝感謝でした。

後半は、「お名前ビンゴ」でまたまた盛り上がり、ささやかな景品に笑いが見られました。

盛況のうちに終了した新年会。その後、飲み足りないメンバーが二次会へと繰り出し、また記憶をなくした方もいたとか・・・。

(リポーターはガバさんでした)



● 異動のお知らせ

4月1日付けで青森県立中央病院の人事異動があり、まろまろ会員の病院スタッフの方も異動されました。

<あすなろ医療療育センターへ転出>

4階西病棟 飛内 那穂子 看護師

<十和田食肉衛生検査所へ転出>

臨床検査部 田名部 美穂 技師

これからも、ご支援よろしくお願いたします。

スペシャルゲスト
Dr山口御夫妻
お久しぶりです



● まろまろからのいろいろなお知らせ

● ミニミニ学習会

今年度の総会で提案をいただいて始めた「ミニミニ学習会」ですが、昨年11月の第1回は8階西病棟の盛主幹看護師による「感染予防について」というテーマで、今年に入って2月の第2回目は「歯磨き、ブラッシングについて」というテーマで県病歯科口腔外科の山口さん、伊藤さんにお話していただきました。

それぞれ講師の方の工夫によってわかりやすく説明していただき、これまで何気なくやってきた手洗いが全然大丈夫でないことに気付いたり、歯磨きやうがいによって口の中の細菌を減らすことの大切さを改めて感じました。（レポートは斉藤さんでした。）

—第2回ミニミニ学習会から—

○歯磨きのコツ

- ・ブラシは小さめ。あまり力を入れすぎず、圧力は150グラムくらいで
- ・舌は、ブラシだと傷をつけることがあるので、スプーンを利用
- ・なるべく食後30分以内に

○薬の副作用などで口の中が乾燥したときは

- ・マスクなどで乾きを防ぐのも1つの方法
- ・唾液腺のマッサージで唾液が出やすくする
- ・口内に保湿剤を塗る



骨髄移植推進財団 平成20年度説明員研修会

3月14日、骨髄バンクボランティア説明員の東北ブロック研修会が仙台市で開催され、まろまろからも8名の説明員が参加しました。

研修会では、骨髄バンク事業の現状と課題についての説明があり、平成20年1月にドナー登録者が30万人に達したこと、また12月には移植数が1万例に達したことなどの報告がありました。

また、最近の課題としては、

- ①これまでの骨髄移植に限らず、末梢血幹細胞移植の導入に向けた検討を始めていること。
- ②ドナーのHLAは、これまでのA座・B座・DR座の3座6抗原の検査に加え、移植の予後に影響があることがわかったC座の検査も行うことになった。

などの説明がありました。



まろまろクリスマス会

12月20日に開催したクリスマス会では、音楽療法士の先生のご指導をいただいて、各病室にハンドベルの響きをプレゼントしました。

にわか仕込みのハンドベルでしたが、皆さんに早く良くなっていただきたいという想いは届いたでしょうか。



「ちょっとお知らせ」

ガバさんからの投稿です。

昨年、骨髄バンクのドナー登録説明員になって、私の勤めている会社で、献血車が来た時に数名の方に登録して頂きました。その中の一人がつい先日、お知らせが来たということで、現在、検査などで準備段階にあります。まだ、決定ではないのですが、現実にもこのような事が起ると、すごく達成感というか、やる気が出てきます。

今後もたくさんの方々にご協力を頂き、ドナー登録を増やして行けたらと思っています。

「運良く？落選のお話し」 あすばむさん（新聞社勤務）からの話題です。

先日、青森地方裁判所で行われたある重大事件の初公判の傍聴券を求めて、人の列に並びました。各マスコミには1枚の配付しかなく、もう少し記者の数を法廷に送り込みたいということから、会社から動員がかかりました。

55枚の券を求めて、約200人強が並び抽選を待ちましたが、くじ運悪く、あえなく落選。少しガッカリしました。骨髄異形成で大当たりしたので、もはや運が尽きたのかも知れませんね。発表の紙が貼り出されたときは、何やら入試の合格発表みたいな興奮を覚えたのは何故でしょうか？（笑）

◇ご寄付いただきました◇

寺島 知子 様

ありがとうございました。

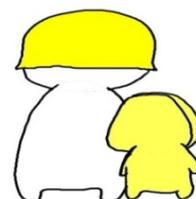


これまたガバさんからです

これは、入院患者なら誰でも知っている、点滴スタンドのミニチュアです。私が退院する時に作って、今は8回西病棟の受付カウンターに置いてます。

材料は全て院内にあるものです。柱には注射針のカバー、心棒は竹ひごの綿棒、点滴袋は実物を切り取ったもの、マスクも実物から切り取ったものです。作成にあたって、看護師さんや先生に心棒に針カバーを積み重ねてもらいました。

その意味するところが「生きる」です。皆さんの気持ちを積み重ねて、点滴として受け入れて、私たちには「生きる」チカラとなりました。 ありがとう



● まろまる学習会のお知らせ

◇お待たせいたしました。

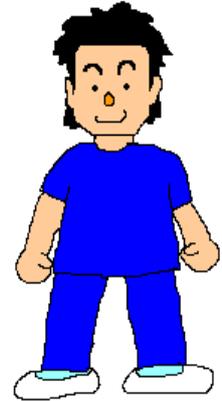
小倉先生を講師にお迎えし、まろまる学習会を開催します。

テーマ 最近の治療と外来フォロー

講師 青森県立中央病院血液内科副部長 小倉和外先生

日時 4月25日(土) 午後2時から

場所 青森県立中央病院 3階大会議室



自由質問の時間も予定しています。

普段なかなか聞きにくいことなどもあると思います。この機会に教えていただき、みんなで情報や知識を深めましょう。

会員でない方も、参加大歓迎です。入院中の方、外来治療中の方、そして御家族の方、遠慮なくおいでください。お待ちしております。

最近、「なかなか行事に参加できないので退会します」という連絡をいただきます。確かに、日程やお住まいの関係で、ほとんど参加できない方もたくさんいらっしゃいます。そこが、まろまるの課題でもあるのですが、参加できなくても、会費を支払うチャンスが無くてもいいのです。会の仲間として時々お送りする会報をご覧になることで、まろまるにご参加ください。

出欠確認のため同封するハガキも、欠席のお返事でいいのです。せっかくですので、近況などをお知らせくだされば、行事の際にご紹介したいと思います。「ハガキで参加」というのも(吟じます)♪あると思います♪



◇メーリングリスト

まろまる会員のメーリングリストが運用中です。会員同士の情報交換にご活用ください。

未登録の方は、下記までご連絡を。
登録先のアドレスをお知らせします。

fwhy2780@nifty.com



骨髄バンク情報 (H21年2月末現在)

	全国	青森県
患者登録者数	1,325人	12人
ドナー登録者数	333,369人	2,642人
対象人口千人あたり	5.55人	4.13人(37位)

—資料：(財)骨髄移植推進財団—

血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまる
<事務局連絡先> 青森県立中央病院 血液内科 外来
TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083
〒030-8553 青森県青森市東造道2-1-1



県病HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/hospital/kenbyo/ketsueki.html>
ブログ <http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com>

